



①2008年5月に撮影したイルカ水路のミズクラゲの群れ②水族館で展示しているオーレリア・コエルレア③オーレリア・インシュラリア（野方靖行さん撮影）④瀬戸内町で見つけたミズクラゲの一種。オーレリア・コエルレアとそっくりです



ミズクラゲは春から夏にかけて出現する、日本で最もよく知られたクラゲです。全国の水族館でも展示され、皆さんも一度は見ることがあるのではないのでしょうか。

ミズクラゲの仲間は世界中にいて、2021年の海外の研究者の報告によると、28種とされています。うち日本には4種程度いると考えられています。

このうち学名「オーレリア・コエルレア」は一般的なミズクラゲで、鹿児島県本土周辺では2月～初夏ごろまで見られます。県内にはこの1種だけと思われてきましたが、かごしま水族館は近年、特徴の異なる2種を奄美大島で採集しました。



## ミズクラゲ 県内に3種も生息？

1種は16年に龍郷町の海底でポリプ（クラゲの子ども）を見つけました。育てて遺伝子を調べると、南米で報告されているミズクラゲの「オーレリア・インシュラリア」と分かりました。国内で確認したのは初めてです。まだ和名はありません。

2種目は20年に瀬戸内町で採集しました。見た目はオーレリア・コエルレアとそっくりですが、成長に適した水温などに違いが見られます。

遺伝子を調べると、台湾や沖縄で見られるミズクラゲの仲間似ているようですが、詳しくは調査中です。

ミズクラゲは現在も研究途中です。実際のところ何種いるのかよく分かっていません。見た目は似ていてもよく調べると、違う種ということとは時々あります。よく知られた生き物でも、注意深く観察すれば新しい発見につながることもあるのです。

（魚類展示係飼育員・築地新光子）